

ーカルベンチャー100
社が起業するほうが価値
があるという考え方で
す。チャレンジできる村
であることをアピールし、
「移住して！」ではなく、
仕事を創りに来てもらう
スタンスで、その際に大
切なのは、村の姿勢をし
っかりアピールすること
です。又、アピールして
待っているだけではなく、
平成27年度からローカル
ベンチャースクールを開
催しチャレンジャーを募
ったり、全国各地の先進
自治体9カ所と広域連携
して起業ラボを開催した
り、人材獲得の工夫をし
ています。

「百年の森林構想」と
ともに「再生エネルギー
に取り組む村」を旗印に、
「生きるを楽しむ西栗倉
村」をモットーとし、持
続可能な村として、SD
Gsに合致する環境モデ
ル都市に認定されたこと
は、大きな魅力となっ
ています。

(記 平野 由里子)

水害の傷跡を残す 真備町

真備町は倉敷市の北西
部に位置し、人口2万3
千人の倉敷市のベッドタ
ウンとして移住者が増え
た静かな町です。

記憶に新しいと思いま
すが2018年7月7日
未明に起きた西日本豪雨
により甚大な被害を受け
た町です。町中央流れる
小田川が氾濫決壊し、又
そこに流れ込む複数の水
路が行き場を失い、逆流
をしたため町中心部が浸
水してしまいました。

この浸水
面積は真備
町の4分の
1にも及び、
水の深さは
最大で5m
にも達した
とのこと
です。未だ傷
跡が残って
いる町並み
を見て改め



未だ傷跡が残っている被災現場

て被害の甚大さを実感し
ました。

この水害により、死者
62名(関連死10名含)、
重傷者9名、軽傷者11
1名、家屋全壊4千64
6棟、半壊846棟、一
部損壊369棟、床上浸
水116棟にも及び、平
地のほぼ全域が浸水した
そうです。死亡者のほと
んどが建物の一階部分で
水死してしまっていたよ
うですが、奇跡的に予ど
もの死亡者はいませんで
した。被害の大きかった
地域に指示が出されたの
は、堤防が決壊する4分
前でした。倉敷市では水

害の2年前にハザードマ
ップが作成され、真備町
の中心地は危険区域とし
て位置づけられていまし
た。しかし町民の意識は
低く、水害なんてよその
所の話だという思いが
あったようです。又、災
害時の対策本部であるは
ずの真備町役場が浸水し
てしまい機能しなかった
ことが、今回の水害の死
傷者を多数出してしまっ
たことに拍車をかけたこ
とと思われます。

この視察を通し、松田
町の今後の災害対策の参
考となればと思いました。

(記 内田 晃)

繊維の町 児島ジーンズストリート

野崎家の塩田開発や干
拓により倉敷市児島地区
は発展してきました。瀬
戸内海への高梁川の土砂
の堆積などにより児島地
区は文字通りの島から陸
続きとなりましたが、農
作物の栽培は難しく、盛

んとなった
のは塩害に
強い綿の栽
培であった
ことが現
在の日本の
ジーンズ発
祥の地とさ
れる児島の
ジーンズの
復興につな
がってきま
した。



ジーンズをモチーフにした公衆トイレ

児島地区は、明治時代
から「繊維の町」として
知られていますが、ジ
ーンズに関しては1960
年代に国内で最初にジ
ーンズ生産を手掛けたこ
でも有名です。

この「児島ジーンズス
トリート」は、地元メー
カーや児島商工会議所等
による協議会が味野商店
街の空き店舗への誘致活
動として行っておりま
す。

「児島ジーンズストリ
ート」は、かつて児島で
最も栄えた味野商店街の
中にあり、旧野崎住宅前
から味野第2公演までの

400m程のストリート
となっています。

しかしながら、児島地
区のジーンズ業者は、現
在は大型衣料チェーン店
の隆盛に押されつつあり
ます。そこで、ジーンズ
販売の拠点となる「児島
ジーンズストリート」と
名打って、様々な商店街
振興策を図っています。

(記 井上 栄一)

他に、真備町にある小
説家横溝正史疎開宅と、
児島地区にある江戸時代
後期に製塩業で財を築い
た野崎家の旧住宅を視察
しましたが紙面の関係で
割愛させていただきます。